

伯耆町長コメント

この度、伯耆町は、町民の約1／3が加入する「全国健康保険協会鳥取支部(協会けんぽ)」と「伯耆町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結することになりました。

県内市町村では既に4市町が協会けんぽと協定を結んで住民の健康づくりを協働して推進しておられ、本町が5例目となります。

本町では、がんによる死亡や高血圧・糖尿病などの生活習慣病による通院治療費の多さ、また、高齢者の医療費の多さなどが課題となっています。しかし、これらを早期発見し、重症化を防ぐために行っている住民健診の受診率は決して高くなく、より多くの住民の皆様が健診を受けていただくために苦慮している状況です。

そのため、この度の協定により、これまで各々で行ってきた健診の受診勧奨などを、ノウハウを共有し、協働して効果的に行い、受診率の向上に取り組んでいきます。

また、伯耆町国民健康保険、後期高齢者医療、協会けんぽ合わせて町民の約74%の健診及び医療のデータが集まることとなりますので、これらの分析により本町の健康課題を見出し、働き盛りの世代の方々が多く加入される協会けんぽと力を合わせて、課題解決に向けた疾病予防や健康づくりなどの取り組みを進めます。

協定締結により様々な効果が期待できますが、町民の皆様が高齢となっても健康で暮らしていける町づくりを進めていきたいと考えています。



伯耆町長
森安 保

